## 学会進行予定表　第 1 日　6 月 15 日（土）

| | 第1会場<br>3F　コスモスⅠ | 第2会場<br>3F　コスモスⅡ | 第3会場<br>5F　オリオン | 第4会場<br>5F　スバル |
|---|---|---|---|---|
| 8：00 | | | | |
| 9：00 | | | | |
| 10：00 | | | | |
| 11：00 | 11:45～11:50　開会式 | | | |
| 12：00 | 11:50～12:50<br>ランチョンセミナー 1<br>共催：サノフィ(株) | | | |
| 13：00 | | 13:00～14:00　P★<br>教育講演 1<br>「医療技術の進歩と生命の重さについて」<br>演者：田中　守 | | |
| 14：00 | 14:00～15:00<br>スポンサードセミナー 1<br>共催：コヴィディエンジャパン（株） | | | |
| 15：00 | | 15:00～15:50<br>若手口演<br>【産科合併症】<br>（Y-01～Y-06） | 15:00～15:50<br>若手口演<br>【子宮体部】<br>（Y-13～Y-17） | 15:00～15:50<br>若手口演<br>【分娩・産褥】<br>（Y-22～Y-27） |
| 16：00 | | 16:00～17:00　P★<br>ワークショップ<br>【周産期医療とDOHaD】<br>演者：春日義史<br>池ノ上学 | | |
| 17：00 | | 17:00～18:00<br>若手口演<br>【胎児異常】<br>（Y-07～Y-12） | 17:00～18:00<br>若手口演<br>【子宮頸部】<br>（Y-18～Y-21） | 17:00～18:00<br>若手口演<br>【産科手術】<br>（Y-28～Y-34） |
| 18：00 | 18:00～19:00<br>若手優秀演題賞発表・表彰式 | | | |

P日本専門医機構認定講習
★Web開催期間中にオンデマンド配信を行います.

## 都市センターホテル

| 第5会場<br>6F　601 | 第6会場<br>6F　606 | 第7会場<br>7F　701 | 第8会場<br>7F　706 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 8：00 |
| | | | | 9：00 |
| | | | | 10：00 |
| | | | | 11：00 |
| | | | | 12：00 |
| | | | | 13：00 |
| | | 14:00～16:00<br>超音波ハンズオンセミナー<br>共催:GEヘルスケア･ジャパン(株)<br>※事前登録制 | | 14：00 |
| 15:00～15:50<br>若手口演<br>【卵巣】<br>(Y-35～Y-40) | 15:00～15:50<br>若手口演<br>【その他1】<br>(Y-46～Y-50) | | | 15：00 |
| | 16:00～16:40<br>若手口演<br>【その他2】<br>(Y-51～Y-55) | | 15:10～17:10<br>腹腔鏡ハンズオンセミナー<br>共催:ジョンソン･エンド･ジョンソン(株)<br>※事前登録制 | 16：00 |
| 17:00～18:00<br>若手口演<br>【婦人科良性】<br>(Y-41～Y-45) | 17:00～18:00<br>若手口演<br>【母体合併症】<br>(Y-56～Y-62) | | | 17：00 |
| | | | | 18：00 |

## 学会進行予定表　第２日　６月 16 日（日）

| | 第1会場<br>3F　コスモスⅠ | 第2会場<br>3F　コスモスⅡ | 第3会場<br>5F　オリオン |
|---|---|---|---|
| 8：00 | 8:00～9:00 P★<br>指導医講習会（日本産科婦人科学会）<br>「生成 AI 等と医療・教育への関わりと注意点」<br>演者：島井健一郎 | | |
| 9：00 | 9:00～10:15<br>優秀演題賞候補<br>【産科】<br>（S-01～S-06） | | 9:00～10:00<br>優秀演題賞候補<br>【婦人科】<br>（S-07～S-11） |
| 10：00 | | 10:00～11:00 P★<br>教育講演２<br>「子宮体がん治療ガイドライン 2023 年度版の改訂のポイント」<br>演者：小林陽一 | 10:00～11:00<br>一般口演<br>【妊娠・分娩】<br>（O-01～O-07） |
| 11：00 | 11:00～12:00 P★<br>特別講演<br>「人工胎盤研究の進捗状況」<br>演者：齋藤昌利 | | |
| 12：00 | 12:10～13:10<br>ランチョンセミナー２<br>共催：GE ヘルスケア・ジャパン（株） | 12:10～13:10<br>ランチョンセミナー３<br>共催：アストラゼネカ（株） | 12:10～13:10<br>ランチョンセミナー４<br>共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン（株） |
| 13：00 | 13:15～14:00<br>総会 | | |
| 14：00 | | | 14:00～14:50<br>スポンサードセミナー２<br>共催：（株）アムコ |
| 15：00 | P★ ※<br>15:00～17:30<br>関東ブロック産婦人科医会<br>共催シンポジウム<br>【母体保護法について<br>―母体保護法指定医師研修会―】<br>演者：永山雅之<br>道下正彦<br>日下田大輔<br>佐藤雄一 | 第１会場<br>（中継） | |
| 16：00 | | | |
| 17：00 | 17:30～17:40　閉会式 | | |
| 18：00 | | | |

P日本専門医機構認定講習
★Web 開催期間中にオンデマンド配信を行います．
※母体保護法指定医師研修会受講証の発行は，事前登録，かつセッションの現地参加が必須です．Web 参加で受講証の発行はできません．

## 都市センターホテル

| 第4会場<br>5F　スバル | 第5会場<br>6F　601 | 第6会場<br>6F　606 | |
|---|---|---|---|
| | | | 8：00 |
| | | | 9：00 |
| | | | 10：00 |
| 10:00～11:00<br>一般口演<br>【婦人科良性】<br>（O-08～O-13） | 10:00～11:00<br>一般口演<br>【婦人科悪性】<br>（O-21～O-27） | | |
| | | | 11：00 |
| | | | 12：00 |
| 12:10～13:10<br>ランチョンセミナー５<br>共催：科研製薬（株） | 12:10～13:10<br>ランチョンセミナー６<br>共催：MSD（株）/エーザイ（株） | 12:10～13:10<br>ランチョンセミナー７<br>共催：日本新薬（株） | 13：00 |
| | | | 14：00 |
| 14:00～15:00<br>一般口演<br>【婦人科その他】<br>（O-14～O-20） | | | |
| | | | 15：00 |
| | | | 16：00 |
| | | | 17：00 |
| | | | 18：00 |

# 学術集会プログラム

## 第1日
## 6月15日（土）

### ランチョンセミナー1

6月15日（土）　11：50〜12：50　第1会場「3F　コスモスI」

**【進行・再発の子宮頸がん治療戦略〜セミプリマブの適正使用〜】**

座長：北里大学　加藤　一喜

**「当センターにおけるセミプリマブ使用経験と考察」**

演者：神奈川県立がんセンター　佐治　晴哉

**「進行再発子宮頸癌の薬物療法総論」**

演者：北海道大学　渡利　英道

（共催：サノフィ株式会社）

### 教育講演1 P

6月15日（土）　13：00〜14：00　第2会場「3F　コスモスII」

**「医療技術の進歩と生命の重さについて」**

座長：東海大学　石本　人士

演者：慶應義塾大学　田中　守

### スポンサードセミナー1

6月15日（土）　14：00〜15：00　第1会場「3F　コスモスI」

**「Next Level 婦人科内視鏡手術〜Hybrid RAS or Laparoscopic Surgery」**

座長：慶應義塾大学　山上　亘

演者：慶應義塾大学　野上　侑哉

練馬総合病院　白根　晃

（共催：コヴィディエンジャパン株式会社）

### ワークショップ P

6月15日（土）　16：00〜17：00　第2会場「3F　コスモスII」

**【周産期医療とDOHaD】**

座長：杏林大学　谷垣　伸治

**「妊娠糖尿病で考えるDOHaD」**

演者：慶應義塾大学　春日　義史

**「胎児超音波から見えてくるDOHaDの世界」**

演者：慶應義塾大学　池ノ上　学

## 超音波ハンズオンセミナー

6 月 15 日（土）　14：00〜16：00　第 7 会場「7F　701」

**「3D 超音波で胎児の Volume 計測をしてみよう！」**

近年の超音波機器の発達とともに，3D 超音波が産婦人科領域においても臨床応用されつつある．胎児四肢容積は，脂肪量や骨格筋量を含む胎児発育の新しい指標としてその有用性が示されており，日本人における妊娠週数ごとの標準値も報告されている．例えば妊娠糖尿病では妊娠後期に胎児上腕容積が増大するが，これは妊娠糖尿病が肩甲難産のリスク因子となることと一致している．また，Virtual Organ Computer-aided Analysis（VOCAL）は，胎児臓器の容積を評価する方法であり，羊水過少等における胎児尿産生量の評価に用いられる．本セミナーで，3D 超音波を用いて胎児四肢容積や膀胱容量の計測を行ってみましょう．

講師：慶應義塾大学　池ノ上　学
秋田　啓介
玉井　順子
長谷川慶太
秋葉　洋平
（共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社）

**※本セッションは事前登録制です．申し込み詳細は，学会ホームページをご確認ください．**

## 腹腔鏡ハンズオンセミナー

6 月 15 日（土）　15：10〜17：10　第 8 会場「7F　706」

**「やってみよう！臓器モデルを用いた練習法」**

これまでにあった縫合結紮の練習や動物モデルをつかった疑似手術に加え，本校オリジナルの臓器モデルを使用した尿管同定や傍大動脈リンパ節郭清の練習を体験することができます．先着順のため，お早目の登録をお願いいたします．

講師：国際医療福祉大学成田病院　林　　茂徳
慶應義塾大学　野上　侑哉
中村加奈子
川崎市立川崎病院　吉村　拓馬
（共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社）

**※本セッションは事前登録制です．申し込み詳細は，学会ホームページをご確認ください．**

# 第 2 日
# 6 月 16 日（日）

## 指導医講習会（日本産科婦人科学会） P

6 月 16 日（日）　8：00〜9：00　第 1 会場「3F　コスモス I」

**「生成 AI 等と医療・教育への関わりと注意点」**

座長：千葉大学　甲賀かをり

演者：　メディカルデザイン総合研究所／厚生労働省健康・生活衛生局／
慶應義塾大学SFC研究所／地方公共団体情報システム機構（J-LIS）　島井健一郎

## 特別講演 P

6 月 16 日（日）　11：00〜12：00　第 1 会場「3F　コスモス I」

**「人工胎盤研究の進捗状況」**

座長：慶應義塾大学　田中　　守

演者：東北大学　齋藤　昌利

## ランチョンセミナー 2

6 月 16 日（日）　12：10〜13：10　第 1 会場「3F　コスモス I」

**「超音波による胎児スクリーニングで押さえるべきポイントと新技術の活用法」**

座長：埼玉医科大学総合医療センター　菊池　昭彦

演者：昭和大学江東豊洲病院　小松　玲奈

（共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社）

## 関東ブロック産婦人科医会共催シンポジウム P

6 月 16 日（日）　15：00〜17：30　第 1 会場「3F　コスモス I」

**【母体保護法について―母体保護法指定医師研修会―】**

座長：独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院／群馬産科婦人科学会　伊藤　理廣

**「母体保護法について―母体保護法の趣旨と円滑な運用のために―」**

演者：群馬県産婦人科医会　永山　雅之

**「生命倫理に関するもの」**

演者：道下産婦人科医院　道下　正彦

群馬大学　日下田大輔

**「医療安全・救急処置に関するもの」**

演者：産科婦人科舘出張佐藤病院　佐藤　雄一

**※母体保護法指定医師研修会受講証の発行には，学会参加登録後に，マイページより事前登録，かつセッションの現地参加が必須となりますので，ご注意ください．申し込み詳細は，学会ホームページをご確認ください．**

## 教育講演 2 P

6 月 16 日（日）　10：00～11：00　第 2 会場「3F　コスモス II」

**「子宮体がん治療ガイドライン 2023 年度版の改訂のポイント」**

座長：慶應義塾大学　山上　亘

演者：杏林大学　小林　陽一

## ランチョンセミナー 3

6 月 16 日（日）　12：10～13：10　第 2 会場「3F　コスモス II」

**「PAOLA-1 試験結果から読み解く卵巣癌治療の層別化の可能性」**

座長：慶應義塾大学　山上　亘

演者：東海大学　野村　弘行

（共催：アストラゼネカ株式会社）

## ランチョンセミナー 4

6 月 16 日（日）　12：10～13：10　第 3 会場「5F　オリオン」

**「帝王切開創部菲薄化予防における最新縫合糸の効果～Spiral Trial・Barbed Trial の報告～」**

座長：国立成育医療研究センター　梅原　永能

演者：岡山大学　牧　尉太

（共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社）

## スポンサードセミナー 2

6 月 16 日（日）　14：00～14：50　第 3 会場「5F　オリオン」

**【TLH（RAH）と vNOTES に使っている手術機器マネジメント】**

座長：四谷メディカルキューブ　羽田　智則

**「働き方改革の一助として，vNOTES 導入！」**

演者：東京都立東部地域病院　尾崎　理恵

**「精緻な手術と安全性を求めて　マニピュレーター保持器の可能性は？」**

演者：昭和大学　長島　稔

（共催：株式会社アムコ）

## ランチョンセミナー 5

6 月 16 日（日）　12：10～13：10　第 4 会場「5F　スバル」

**「骨盤臓器脱に対する仙骨腟固定術～腹腔鏡からロボット支援下手術まで～」**

座長：国際医療福祉大学三田病院　上田　和

演者：昭和大学　石川　哲也

（共催：科研製薬株式会社）

## ランチョンセミナー 6

6 月 16 日（日）　12：10〜13：10　第 5 会場「6F　601」

**「婦人科腫瘍におけるがん免疫療法の最前線」**

座長：東京慈恵会医科大学　岡本　愛光
演者：慶應義塾大学　西尾　　浩
（共催：MSD 株式会社/エーザイ株式会社）

## ランチョンセミナー 7

6 月 16 日（日）　12：10〜13：10　第 6 会場「6F　606」

**「産科領域における鉄欠乏性貧血の up to date」**

座長：慶應義塾大学　春日　義史
演者：順天堂大学　竹田　　純
（共催：日本新薬株式会社）

## 優秀演題賞候補

# 第１会場（3F　コスモスⅠ）

### ６月16日（日）優秀演題賞候補

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演　題　名 | 演　者　名 | 所　属　機　関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 産科 | 水主川　純（東京女子医科大学）<br>市塚　清健（昭和大学横浜市北部病院） | 9：00<br>～<br>10：15 | S-01 | RPOCに対して内腸骨動脈バルーンカテーテルを併用した子宮鏡手術が，その後の妊娠に与える影響について | 井田　侑志 | 東京大学 |
| | | | S-02 | 13トリソミーの胎児における超音波所見の検討 | 高橋　彩子 | 国立成育医療研究センター |
| | | | S-03 | 胚の形態学的評価に基づく二個胚移植（DET）の出生率・多胎のリスクの評価 | 内田　志穂 | 慶應義塾大学 |
| | | | S-04 | 当院における飛び込み分娩に関する後方視的検討 | 鈴木　友浩 | 川崎市立川崎病院 |
| | | | S-05 | 無痛分娩時に気脳症を合併した一例 | 河津　　理 | 聖マリアンナ医科大学 |
| | | | S-06 | 外回転術後の硬膜穿刺後頭痛後に，硬膜外麻酔で管理した無痛分娩の１例 | 伊地知航司 | 順天堂大学 |

# 第３会場（5F　オリオン）

### ６月16日（日）優秀演題賞候補

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演　題　名 | 演　者　名 | 所　属　機　関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 婦人科 | 長阪　一憲（帝京大学）<br>加藤　一喜（北里大学） | 9：00<br>～<br>10：00 | S-07 | 全腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）における経腟的ドレーン留置の有用性 | 吉池　奏人 | 諏訪赤十字病院 |
| | | | S-08 | 骨盤臓器脱女性に対する経腟的子宮温存手術の中期成績 | 熊谷　奈美 | 埼玉医科大学 |
| | | | S-09 | 子宮体癌IB期における適切な子宮摘出術式の検討 | 徳岡　　旭 | 慶應義塾大学 |
| | | | S-10 | Geriatric8を用いた高齢者の術前機能評価 | 川口　優美 | 東海大学 |
| | | | S-11 | Antithrombin resistance合併患者の周術期管理の工夫 | 八幡　将喜 | 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 |

一般口演

# 第 3 会場（5F　オリオン）

## 6 月 16 日（日）一般口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演　題　名 | 演　者　名 | 所　属　機　関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 妊娠・分娩 | 落合　大吾（北里大学） | 10：00〜11：00 | O-01 | 当院における胎児十二指腸閉鎖の出生前診断と予後 | 代田　泰大 | 東京慈恵会医科大学 |
| | | | O-02 | GDM の羊水過多と考えていた症例が胎児多尿をきたす bartter 症候群と診断された一例 | 清水　元治 | 埼玉医科大学総合医療センター |
| | | | O-03 | 管理入院と連日の胎児心拍数陣痛図が児の娩出時期決定に有用であった前置血管の 2 例 | 佐川　慧 | 日本医科大学 |
| | | | O-04 | 筋腫核出後の双胎妊娠で妊娠初期に子宮破裂した症例 | 有馬　香織 | 日本赤十字社医療センター |
| | | | O-05 | 循環器疾患を有する女性におけるプレコンセプションカウンセリングの実際 | 堀内　縁 | 榊原記念病院 |
| | | | O-06 | 腹腔鏡手術後に判明した両側卵管妊娠の 1 例 | 松本　愛未 | 獨協医科大学 |
| | | | O-07 | 複数回異数性及び倍数性の異型が検出され流産絨毛染色体検査が臨床的に有用であった不育症の一症例 | 一井　直樹 | 自治医科大学附属さいたま医療センター |

# 第４会場（5F　スバル）

## ６月16日（日）一般口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演題名 | 演者名 | 所属機関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 婦人科良性 | 甲賀かをり（千葉大学） | 10：00～11：00 | O-08 | Rubin 法（子宮頸部絞扼）を用いた腹腔鏡下子宮筋腫核出術の経験 | 松下智香子 | 健和会みさと健和病院 |
| | | | O-09 | 妊娠子宮嵌頓症の帝王切開後，腹腔鏡下子宮筋腫核出術を行った１例 | 鷲見　悠美 | 伊那中央病院 |
| | | | O-10 | 右卵巣線維腫の疑いで腹腔鏡下手術を行い子宮円靭帯から発生した子宮筋腫であった１例 | 高田美乃莉 | 防衛医科大学校病院 |
| | | | O-11 | 単孔式腹腔鏡下付属器切除術を施行した，800g 超の卵巣成熟嚢胞性奇形腫の１例 | 海野　洋一 | 成田赤十字病院 |
| | | | O-12 | 好酸球増多症の精査中に発見された，化学性腹膜炎を呈していた卵巣成熟奇形腫破裂の一例 | 尾崎　友香 | 東京大学 |
| | | | O-13 | 帝王切開後の卵巣子宮内膜症性嚢胞の感染に対して，腹腔鏡下手術を要した一例 | 奥原　充香 | 伊那中央病院 |
| 婦人科その他 | 山下　博（国立病院機構東京医療センター） | 14：00～15：00 | O-14 | 子宮筋腫の経過観察中に発生した子宮肉腫により子宮破裂をきたした一例 | 富井　　恵 | 東京歯科大学市川総合病院 |
| | | | O-15 | ロボット支援下に子宮を摘出できた OHVIRA 症候群の一例 | 荒瀬　　透 | けいゆう病院 |
| | | | O-16 | 未閉経女性の陰唇癒合と子宮粘膜下筋腫に対し陰唇の癒着剥離後に腹腔鏡下子宮全摘術を施行しえた１例 | 愛葉　美奈 | 北里大学メディカルセンター |
| | | | O-17 | Edwardsiella tarda による卵管膿瘍から敗血症をきたした一例 | 朝倉　美香 | 埼玉協同病院 |
| | | | O-18 | 性同一性障害（Gender Identity Disorder；GID）４例の臨床経験から | 高木　　緑 | 諏訪赤十字病院 |
| | | | O-19 | 布製模型を用いた傍大動脈リンパ節郭清術のトレーニング | 中村加奈子 | 慶應義塾大学 |
| | | | O-20 | 抗 PD-1 抗体薬使用後に急速に視野障害が進行した子宮体部神経内分泌癌の一例 | 大塚　早織 | 順天堂大学 |

# 第 5 会場（6F　601）

## 6 月 16 日（日）一般口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演　題　名 | 演　者　名 | 所　属　機　関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 婦人科悪性 | 宮本　強（信州大学） | 10：00〜11：00 | O-21 | I 期子宮体癌の再発症例に対する外科的治療についての検討 | 稲葉　洋文 | 埼玉県立がんセンター |
| | | | O-22 | 当院における進行/再発子宮体癌 14 例に対する Lenvatinib/Pembrolizumab 併用療法の使用経験 | 川合　貴幸 | 越谷市立病院 |
| | | | O-23 | レンバチニブ＋ペムブロリズマブ療法で病変進行となったが，ネダプラチンが奏功した再発子宮体がんの 1 例 | 鄭　博仁 | 長野赤十字病院 |
| | | | O-24 | 子宮体部原発の胃型粘液性癌（gastric-type mucinous carcinoma）の 1 例 | 中尾　優衣 | 東京慈恵会医科大学 |
| | | | O-25 | 術前子宮内膜組織診断にて腺癌を認め準広汎子宮全摘術を施行した子宮頸部上皮内胃型腺癌の 1 例 | 吉田　光代 | 虎の門病院 |
| | | | O-26 | 卵巣腫瘍に対し腹腔鏡下手術を施行し，術後卵巣癌と診断された 1 例 | 渡辺　紗奈 | 永寿総合病院 |
| | | | O-27 | 再発子宮体癌終末期に合併した治療抵抗性血栓症の一例 | 衣川　元章 | 東京大学 |

## 若手口演

# 第２会場（3F　コスモスII）

### ６月 15 日（土）若手口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演　題　名 | 演　者　名 | 所　属　機　関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 産科合併症 | 入山　高行（東京大学） | 15：00～15：50 | Y-01 | 当院における頸管短縮に対する子宮頸管ペッサリーの使用経験 | 山本　奈緒 | 総合病院土浦協同病院 |
| | | | Y-02 | 妊娠 24 週未満診断妊娠糖尿病における glucose variability とインスリン治療との関係 | 梶川かおる | 慶應義塾大学 |
| | | | Y-03 | 凍結胚盤胞移植後妊娠で妊娠初期に発症し自然軽快した Hyperreactio Luteinalis の１例 | 隅野　幹斉 | 帝京大学ちば総合医療センター |
| | | | Y-04 | 人工破膜を契機に羊水塞栓症を発症し救命し得た１例 | 村田　憲保 | 東京医科大学 |
| | | | Y-05 | 当院で経験した周産期心筋症の１例 | 内藤　水音 | 日本医科大学付属多摩永山病院 |
| | | | Y-06 | 自然流産と播種性血管内凝固症候群を反復した子宮腺筋症合併妊娠の１例 | 大木　崇広 | 総合病院土浦協同病院 |
| 胎児異常 | 小澤　克典（国立成育医療研究センター） | 17：00～18：00 | Y-07 | 出生した児を契機に常染色体顕性多発性嚢胞腎の診断となった妊娠高血圧腎症の一例 | 宮川　恒介 | 帝京大学医学部附属病院 |
| | | | Y-08 | 胎児期に胎便性腹膜炎が疑われた児の出生前所見と転帰の検討 | 関田　祐莉 | 筑波大学 |
| | | | Y-09 | 胎児胸腔内嚢胞で発見された非交通性重複食道の１例 | 吉井　るい | 聖隷浜松病院 |
| | | | Y-10 | 二絨毛膜二羊膜双胎の両児に Hirschsprung 病を発症した１例 | 松田　優人 | 千葉大学 |
| | | | Y-11 | 帽状腱膜下血腫および出血性ショックを契機に重症血友病 A と診断しえた新生児例 | 佐藤梨花子 | 東京医科歯科大学 |
| | | | Y-12 | 二絨毛膜二羊膜双胎一児子宮内胎児死亡例に PRES を呈した一例 | 石原　瑶子 | 国立病院機構東京医療センター |

# 第 3 会場（5F　オリオン）

## 6 月 15 日（土）若手口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演題名 | 演者名 | 所属機関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 子宮体部 | 本橋　卓（東京女子医科大学） | 15：00〜15：50 | Y-13 | Lenvatinib+Pembrolizumab 療法で Grade4 の心筋炎に至った再発子宮体癌の一例 | 末永　佑 | 東京都立墨東病院 |
| | | | Y-14 | ペムブロリズマブ・レンバチニブ併用療法開始後早期に発症した Stanford A 型急性大動脈解離の 1 例 | 羽野　瑠花 | 信州大学 |
| | | | Y-15 | 再発子宮体癌に対しレンバチニブ・ペムブロリズマブ併用療法中に irAE 脳炎を来した 1 例 | 三浦めぐみ | 杏林大学 |
| | | | Y-16 | 転移性臍腫瘍（Sister Mary Joseph's nodule）を契機に診断された子宮体部明細胞癌の 1 例 | 木村由実子 | 稲城市立病院 |
| | | | Y-17 | 子宮内反症をきたした子宮体部類内膜癌の 1 例 | 橋本　優子 | 帝京大学ちば総合医療センター |
| 子宮頸部 | 柴田　俊章（浜松医科大学） | 17：00〜18：00 | Y-18 | 皮膚筋炎の精査を契機に診断した子宮頸癌の 1 例 | 野田真友子 | 日本医科大学 |
| | | | Y-19 | 照射野内再発でプラチナ製剤抵抗性子宮頸癌の二次治療としてのセミプリマブ単剤療法が著効した一例 | 長井　美佳 | 日本大学 |
| | | | Y-20 | 子宮頸癌に対する同時化学放射線治療（CCRT）後の尿管ステント長期留置により尿管動脈瘻を発症した 1 例 | 木村　亮介 | 国保君津中央病院 |
| | | | Y-21 | 子宮頸癌に対する同時化学放射線療法後に子宮筋腫の変性と尿管瘻をきたした一例 | 大塚　美保 | 千葉大学 |

# 第４会場（5F　スバル）

## ６月 15 日（土）若手口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演題名 | 演者名 | 所属機関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 分娩・産褥 | 竹田　純（順天堂大学） | 15：00～15：50 | Y-22 | 血液透析患者が妊娠初期に心不全を発症し妊娠24週で分娩した一例 | 太田　康裕 | 群馬大学 |
| | | | Y-23 | 産後に自殺企図を起こした卵子提供妊娠の双胎の一例 | 近江英理子 | 水戸済生会総合病院 |
| | | | Y-24 | 産褥期にストレスによる解離性けいれん，健忘を発症した一例 | 糸山　頌理 | 成田赤十字病院 |
| | | | Y-25 | 昆布を原料とする子宮頸管拡張器によるアレルギーが疑われた１例 | 後藤　雄介 | 横浜市立大学附属市民総合医療センター |
| | | | Y-26 | 周産期センターでの産科主導型無痛分娩における初産婦を対象としたオンデマンド無痛分娩の検討 | 濱田　絵莉 | 武蔵野赤十字病院 |
| | | | Y-27 | 無痛分娩導入時に過強陣痛をきたした不全子宮破裂の１例 | 堀井　翼 | 埼玉医科大学総合医療センター |
| 産科手術 | 髙橋　健（東京慈恵会医科大学） | 17：00～18：00 | Y-28 | 当院で経験した常位癒着胎盤疑い 14 例の後方視的検討 | 遠藤奈緒美 | 北里大学 |
| | | | Y-29 | 肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症に対する抗凝固療法中に生じた予定帝王切開後の腟壁血腫の１例 | 奥谷　和朗 | 横浜市立大学 |
| | | | Y-30 | 帝王切開手術後のケロイド・肥厚性瘢痕予防の取り組み：症例報告 | 田村亜理沙 | 佐野厚生総合病院 |
| | | | Y-31 | 帝王切開術後の腹壁ヘルニアと疑われた腹直筋離開の一例 | 梅田　真央 | 千葉市立海浜病院 |
| | | | Y-32 | 複合的因子を持つ不妊症に対する外科的治療後の生殖補助医療により生産に至った１例 | 山田　瑞季 | 東京医科大学 |
| | | | Y-33 | 帝王切開瘢痕部妊娠に対する MTX 局所療法の有効性についての後方視的検討 | 新井　雄太 | 自治医科大学 |
| | | | Y-34 | 分娩後 17 週の異常性器出血で判明した異所性妊娠の１例 | 渡邉　修平 | 前橋赤十字病院 |

# 第5会場（6F　601）

## 6月15日（土）若手口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演題名 | 演者名 | 所属機関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卵巣 | 久慈　志保（聖マリアンナ医科大学） | 15：00～15：50 | Y-35 | 腹腔内再発を契機にTrousseau症候群を併発し，急激な転帰を辿った卵巣明細胞癌の1例 | 坂本　龍亮 | 日本大学 |
| | | | Y-36 | 腟断端脱・直腸脱の同時発症を契機に卵巣癌を発見した一例 | 尾崎　佑太 | 利根中央病院 |
| | | | Y-37 | 非浸潤性腹膜インプラントを伴い再発や進行を認めた卵巣漿液性境界悪性腫瘍の2例 | 福山　愛華 | 済生会横浜市東部病院 |
| | | | Y-38 | 成人型卵巣顆粒膜細胞腫の晩期再発に対する集学的治療により長期生存が得られた一例 | 金子　尭興 | 成田赤十字病院 |
| | | | Y-39 | ベバシズマブによる維持療法でplatinum free intervalが延長した再々発卵巣顆粒膜細胞腫の1例 | 後藤　彩 | 東邦大学医療センター佐倉病院 |
| | | | Y-40 | 子宮体癌の発生・進行に寄与する高エストロゲン状態を来たした卵巣セルトリ・ライディッヒ細胞腫の一例 | 矢尾恵理香 | 国保君津中央病院 |
| 婦人科良性 | 平山　貴士（順天堂大学） | 17：00～18：00 | Y-41 | 調整卵巣刺激中に卵巣茎捻転，腹腔内出血をきたして搬送され，腹腔鏡下手術を行った一例 | 冨永　貴恵 | 横須賀共済病院 |
| | | | Y-42 | レボノルゲストレル徐放型IUS（LNG-IUS）装着後に急速に子宮筋腫が増大した一例 | 角　央彦 | 茨城県立中央病院 |
| | | | Y-43 | 筋腫分娩様に発生し，鑑別に苦慮した腟angiomyofibroblastoma疑いの1例 | 入江　元太 | 虎の門病院 |
| | | | Y-44 | 卵巣子宮内膜症性嚢胞の破裂または感染により急性の下腹部痛を呈し，緊急入院となった6例の後方視的検討 | 小川　和乃 | JAとりで総合医療センター |
| | | | Y-45 | 術前に卵巣腫瘍が疑われた腹腔内腫瘍の3症例 | 田嶋　俊彬 | 順天堂大学医学部附属静岡病院 |

# 第６会場（6F　606）

## ６月 15 日（土）若手口演

| 分類 | 座長 | 時間 | 演題番号 | 演題名 | 演者名 | 所属機関 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| その他１ | 渡邉　百恵（杏林大学） | 15：00～15：50 | Y-46 | 当院における骨盤臓器脱治療の変遷 | 中村　寛泰 | 利根中央病院 |
| | | | Y-47 | 術前経腟超音波検査で sliding sign 陰性のために腹腔鏡下癒着剥離後に vNOTES を実施した一例 | 上谷　真生 | 帝京大学ちば総合医療センター |
| | | | Y-48 | 萎縮性腟炎を合併した子宮頸管狭窄・閉鎖症，陰唇癒合症に対するエストリオール内服の有用性の検討 | 弓削　彩乃 | 千葉大学 |
| | | | Y-49 | 急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植後の移植片対宿主病により発症した腟内血腫を伴う腟閉鎖の１例 | 上山　恭平 | 国際医療福祉大学 |
| | | | Y-50 | 慢性骨盤痛から骨盤内うっ滞症候群と診断された２症例に対する治療報告 | 栗田　綾花 | 浜松医科大学 |
| その他２ | 増田　健太（慶應義塾大学） | 16：00～16：40 | Y-51 | リステリア菌による子宮内感染の１例 | 堂下ちひろ | 浜松医科大学 |
| | | | Y-52 | 全腹腔鏡下単純子宮全摘術後に下腿コンパートメント症候群を発症した１例 | 石井　千晶 | 北里大学メディカルセンター |
| | | | Y-53 | 子宮頸部脈管奇形病変の管理に難渋した Klippel-Trenaunay-Weber 症候群の１例 | 内海　真菜 | 千葉大学 |
| | | | Y-54 | 肺転移を認めた STUMP の１例と再発予測因子としての ATRX 遺伝子の検討 | 小松紗友美 | 総合病院土浦協同病院 |
| | | | Y-55 | 医学教育における腹腔鏡シミュレーターを用いた異所性妊娠ハンズオン実習の有用性の検討 | 菅原　茉佑 | 順天堂大学 |
| 母体合併症 | 金子真由美（昭和大学） | 17：00～18：00 | Y-56 | 頭蓋内動脈狭窄症を合併した３症例 | 井原　弘明 | 信州大学 |
| | | | Y-57 | 子宮内胎児死亡を契機に診断された糖尿病性ケトアシドーシスの１例 | 長谷川　奏 | 東海大学 |
| | | | Y-58 | 栄養療法の継続に同意が得られなかった神経性やせ症合併妊婦の２例 | 土井裕美子 | 東京大学 |
| | | | Y-59 | 妊娠初期に妊娠悪阻症状を契機に脳腫瘍が発見された１例 | 三島　莉奈 | 東邦大学 |
| | | | Y-60 | 妊娠 31 週に腫大した多嚢胞性卵巣により子宮付属器茎捻転を発症した一例 | 古田　瑛子 | 帝京大学ちば総合医療センター |
| | | | Y-61 | 妊娠中に両側総頸動脈の高度狭窄を伴う高安動脈炎と診断し周産期管理を行った１例 | 小安　公音 | 慶應義塾大学 |
| | | | Y-62 | 妊娠高血圧腎症を発症した甲状腺ホルモン不応症合併妊娠の１例 | 熊澤　栞 | 東京医科歯科大学 |